学校番号	2002

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　生物基礎（数研出版）						
副教材等	三訂版　リード Light ノート生物基礎（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・毎時間の授業は、常に目的意識を持って受けましょう。（学習を通じて科学的な自然観や倫理観を養い、科学的に探究する能力と態度を育ててほしいと思っています）
・授業の前半に、班活動や全体アクティビティを行います。主体的に取り組んで、学びを深めましょう。
・授業中だけでなく、日常生活の中の様々な場面で、知識を活用し、新しい見方で物事を眺めましょう。（豊かな考え方、感じ方を身に付けてほしいと思っています）
・授業用のノートを必ず用意してください。見開きで使用し、右側にプリント、左側に板書やまとめをします。授業中は板書を書き写すだけでなく、考え方のポイントや、教員・クラスメイトの発言内容をメモしましょう。
・授業の最後に、振り返りの時間を取ります。その日の授業内容を要約して文章にまとめたり、疑問に思ったことや気付いたことを文章で表現したりするようにしましょう。
・授業後は、学習内容を整理するために、各自でワードマップを作成します。知識の定着に活用してください。
・問題集は、書き込み式のものを使用します。間違った問題は、解説を読んで間違った理由を把握するように。
・ノートと問題集は、定期的に提出してもらいます。振り返りの時間に、こつこつ進めておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
自分自身の健康や身近な環境問題を理解するために必要な生物の基礎的な知識に身につける。また、研究者として求められる素養を身に付けることも視野に入れ、知識の獲得に終わらず、知識を活用する力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
科学的な自然観や倫理観を養い、生物に見られる多様性と共通性を多面的に学び、自分自身も地球に住む生物として、生態系とその保全について考えていくことのできる力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
医療や自然環境の問題に興味・関心を持ち、身の回りの生物に目を向けようとする態度を身につける。世の中の出来事と授業内容を意欲的に結び付け、科学的に探究する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物の共通性や我々の体が持つ生命維持の機能をより深く理解しているとともに、地球上に存在するさまざまな生物がつくるバイオームと生態系に関する知識を総合的に身に付けている。 実験で使用する器具をきちんと取り扱うことができ、実験で起こる様々な現象を見逃さない観察力を身に付けている。	自分が理解した内容を人に伝える表現力がある。また、理解を深める過程で新たな疑問を見出し、解決を目指して判断し、思考を深める能力を身に付けている。 学んだ知識を活用して思考することができ、論理的に物事を判断できる。	知識を受け止める態度に、理解したいという気持ちが表れている。身近な生物や生命現象に興味・関心を持ち、生態系の機能や保全について考えようとする態度を身に付けている。 具体的には、授業中の有益な発言や、班活動への貢献、振り返りやワードマップへの力の注ぎ具合で判断する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 呼吸と光合成	a：生物に共通する「細胞」の構造と細胞小器官に関する知識を身につけている。生命活動に必要なエネルギーを得る方法である「代謝」に関する正しい知識と、それを促進する「酵素」に関する正しい知識を身につけている。 b:「生き物と言える条件とは？」という問いから、生物の共通性について自らの考えを表現できる。また、現在の地球に多様な生物がいる理由について科学的に考察できる。カタラーゼ酵素実験(演示)において、実験過程や結果の意味を考え、きちんとまとめることができている。 c：身近な生物を通して生物の共通性や多様性について興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト 実験理解	定期考査 振り返りシート 班活動のﾜｰｸｼｰﾄ 視聴 レポート	 振り返りシート 班活動の取り組み 視聴 レポート 提出物
	遺伝子とその働き	遺伝情報とＤＮＡ 遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	a：DNAの構造と働き、また、DNAという遺伝情報を正確に分配するしくみについて、正しい知識を身につけている。「プロジェリア症候群」の動画視聴から、遺伝子の突現変異について理解する。 b：生物の能力の違いや、細胞によって形や性質が異なる理由について、遺伝子とタンパク質（酵素）の関係から考察することができる。 「プロジェリア症候群」の動画視聴において、自分が感じたことを文章で表現できている。 c：生物と遺伝子の関係について興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。			

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	生物の体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ	a: 体内環境の維持に関わる「自律神経系」と「内分泌系」の仕組みについて、正しい知識を身につけている。動画視聴を通して、脳死と臓器移植の問題について、基本的な知識を身につけている。 b: 体内環境の維持がどのような意味を持つのかについて考察し、自らの考えを表現できている。脳死と臓器移植の問題について思考を深め、自分の考えを表現できている。 c: われわれヒトを含む動物の体内環境の維持について興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 振り返りシート 班活動のﾜｰｸｼｰﾄ 視聴レポート 実験レポート	振り返りシート 班活動の取り組み 視聴レポート 実験レポート 課題レポート 提出物
		免疫のはたらき 顕微鏡の使い方	a: 生体防御の仕組みについて理解し、知識を身につけている。顕微鏡を正しく扱う技能を身につけ、自分の力でプレパラートを作成し、ピントを合わせることができる。 b: 病原菌への感染から発症までの体内現象を考察し、免疫と健康と医療について、情報を整理して表現することができる。また、乳幼児や高齢者といった免疫力の低い健康弱者に対して何ができるか考えることができる。 c: 生体防御の仕組みについて興味・関心を持ち、自らの健康に役立てようという気持ちで学ぼうとしている。			
3学期	植生の多様性と分布　生態系とその保全	植生と遷移 植生の分布とバイオーム 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	a: 生態系の恵みと、われわれの生活が生態系にどのような影響を与えているのか事例に学び、生態系の保全の重要性を理解している。 校内の木々をよく観察し、その特徴から樹種を予想できるようになる。 b: 身近な生態系について探究活動を行い、その過程や結果をきちんとまとめることができている。 生態系のバランスについて考察し、自らの考えを表現し、伝えることができている。 c: 生態系の保全について興味・関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 振り返りシート 班活動のﾜｰｸｼｰﾄ 視聴レポート	振り返りシート 班活動の取り組み 視聴レポート 課題レポート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度